

令和2年度 府立西寝屋川高等学校 学校教育自己診断の結果

保護者の皆さまには、本校の教育活動について、日頃より多くのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

令和2年度学校教育自己診断アンケートの結果を報告いたします。

※アンケートは、各設問4段階で評価し、A（よくあてはまる）、B（ややあてはまる）、C（あまりあてはまらない）、D（まったくあてはまらない）としています。A+Bを肯定的な評価（肯定率）としています。

令和2年度全般について

本年度の学校教育自己診断では、「生徒アンケート」23項目中18項目、「保護者アンケート」21項目中12項目が昨年度よりも肯定率が向上しました。前年度よりも肯定的な結果となる設問項目が増えています。

5%以上肯定率が上昇したものは、

生徒一「学校では、生活規律や学習規律などの生活習慣の確立に力を入れている」86.9% +10.4%

「挨拶は自分から進んで行うよう心掛けている」+5.5%の76.8%

「成績の内容や他人に知られたくないことなどのプライバシーは守られている」93.0% +5.8%

「授業は、分かりやすく楽しい」70.0% +7.7%

「授業で、コンピュータやプロジェクターなどを活用している」93.8% +7.5%

保護者一なし

肯定率が5%以上下降した設問は、

生徒一なし

保護者一「子どもは、部活動に熱心に取り組んでいる」43.6% -6.4%

「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」51.4% -9.8%

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応によって、外部からの来校者を制限したこと、部活動の制限などの影響があったと思われます。

【学習指導等】

生徒一「先生は生徒の話をよく聞いてくれる」79.4% (+0.6%)、「先生は、自分が努力したことを認めてくれる」85.8% (+3.0%)、「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」80.8% (+3.3%)、「教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいように整備されている」86.6% (+4.1%)、「授業は分かりやすく楽しい」70.0% (+7.7%)と満足度は高く、「授業アンケート」(年2回)の結果においても、2年連続で前年度平均を上回る評価となっています。プロジェクターの設置もほぼ完了し、次年度もICT機器を用いた授業改善に取り組みます。

図書室利用一 45.0%、2.9%の減少。スマートフォンやパソコンによって、手軽に検索・動画視聴等ができ、読書習慣を身につけさせることが年々困難になっています。

【進路指導】

生徒一「将来の進路や生き方について考える機会がある」86.1% (-0.7%)、「学校は進路についての情報を知らせしてくれる」87.3% (+3.8%) 進路指導についてはわずかに肯定率を下げたものもありますが、概ね高い評価を得ています。進路指導を充実させ「キャリア教育」をさらに充実させます。

【生徒指導等】

生徒一「生活規律や学習規律などの生活習慣の確立に力を入れている」86.9% (+10.4%)、「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」84.49% (+3.5%)、「挨拶は自分から進んで行うよう心掛けている」76.8% (+5.5%)、「学校生活について先生の指導には納得できる」70.2% (+1.9%)と高い肯定率。また、遅刻回数は2,492件。臨時休業の期間があったため、昨年度と単純な比較とはなりません。全体的に遅刻件数は減少しています。

保護者一「生徒指導の方針に共感できる」77.8% (-3.0%) 肯定率の減少がありますが、保護者の皆さまとの理解と連携を深め、教育活動を進めたいと考えています。

※ 今後もアンケート結果を踏まえ、教職員一同、教育の充実に努めてまいります。